



健やか親子21

## 「健やか親子21（第2次）」と母子保健情報の利活用についての研修

「健やか親子21（第2次）」の趣旨を踏まえ、全国で一貫した質の高い母子保健サービスを展開するために、各地方自治体には母子保健計画等目標設定や事業の評価の仕組み、乳幼児健診等で把握した母子保健情報の利活用等が求められています。

そこで本研修は、都道府県及び市町村の母子保健行政担当者が母子保健計画や母子保健情報の利活用の目的や考え方、PDCA サイクルの進め方を理解することで、今後の母子保健事業に活かすことを目的に開催いたします。

《開催日・会場》 **受講料:無料** **定員:各 100 名**(定員を超える申し込みがあった場合は調整させていただくことがあります)

7月30日(月)【福岡】リファレンス駅東ビル 2階 Y-1(福岡市博多区)  
8月24日(金)【東京】ビジョンセンター田町 4階 401(東京都港区)  
9月14日(金)【大阪】エル・おおさか 南館 10階 南1023(大阪市中央区)

《受講対象者》都道府県、市区町村の母子保健行政担当者

**※対象者以外はお断りさせていただきます。あらかじめ御了承ください。**

※受講される方には事前課題のご提出をお願いしております(任意)。詳細は受講決定メールにて御確認ください。

《到達目標》

- ・「健やか親子21(第2次)」の趣旨を踏まえ、母子保健情報を利活用することの目的や考え方について理解する。
- ・母子保健事業のPDCA サイクルの進め方を理解し、自分の地域の課題の明確化や評価に活かすことができる。
- ・都道府県や市区町村それぞれの役割を理解することができる。

《プログラム》(受付 9:40~9:55) 9:55~10:00 開会・事務連絡

10:00~10:30 **講義① 「母子保健事業と情報の利活用」**

- ・「健やか親子21(第2次)」を踏まえた母子保健情報の利活用について
- ・都道府県と市区町村それぞれの役割、情報の共有や連携のポイント

10:30~11:00 **講義② 「母子保健情報の利活用、その進め方」**

- ・母子保健計画と母子保健情報を結びつけるために
- ・母子保健事業におけるPDCA サイクルの効果的・効率的な進め方  
(地域の把握と優先課題の抽出、整理/指標、目標の設定/評価等の考え方)

11:00~11:30 **講義③ 「母子保健情報の利活用の具体的な手法」**

- ・把握している乳幼児健診等の母子保健情報の利活用の実際

11:30~11:40 休憩

11:40~12:40 **事例発表 「効果的な取り組みをしている自治体より」**

事例発表自治体

12:40~13:40 昼休み(移動含む。)

福岡・東京・大阪:調整中

13:40~16:00 **グループワーク「自分の地域の母子保健情報の利活用について考える」**

- ・自分の自治体のデータを用いた情報の把握・分析(データ提出が難しい場合はデモデータ使用)
- ・母子保健情報の利活用の意義、効果的な母子保健事業をすすめるための利活用 等

16:00~ 閉会・解散

《講師》(五十音順・敬称略)

尾島 俊之 浜松医科大学健康社会医学 教授(東京) 《講義②・サブファシリテーター》

篠原 亮次 健康科学大学健康科学部 教授(全会場) 《講義③・サブファシリテーター》

松浦 賢長 福岡県立大学看護学部 教授(福岡) 《講義②・サブファシリテーター》

山縣然太朗 山梨大学大学院総合研究部社会医学講座 教授(全会場) 《講義①・メインファシリテーター》

山崎 嘉久 あいち小児保健医療総合センター 副センター長・保健センター長(大阪) 《講義②・サブファシリテーター》

### ● 本研修に関するお問合せ ●

運営事務局：一般社団法人 日本家族計画協会 〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 1-10 保健会館新館  
http://www.jfpa.or.jp/ 電話 03-3269-4785 (平日 9時~17時・祝日除く。) FAX 03-3267-2658

■ 「母子保健指導者養成研修」特設 WEB サイト ⇒ <http://www.jfpa.info/boshi/> ■

お申込みは、特設 WEB サイトよりお願いいたします。 こちらからもアクセス可能です ⇒





健やか親子21

## 育てにくさを感じる親に寄り添う支援についての研修

「健やか親子21（第2次）」の重点課題の1つである「育てにくさを感じる親に寄り添う支援」について、育児に取り組む家庭の孤立化が指摘される中、子育て中の親が育児に対して少しでも余裕と自信を持ち親としての役割を発揮できるよう支援していくことが求められています。

本研修では、「育てにくさ」の背景にある親子の問題の所在の見極め方や親や子どもが発信する様々なサインを理解し、適切な対応や親子に寄り添った支援ができる人材を養成することを目的に開催いたします。

《開催日・会場》 **受講料:無料 定員:各 100 名**(定員を超える申し込みがあった場合は先着順)

7月13日(金)【仙台】TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台東口 10階 ホール10B(仙台市宮城野区)

7月20日(金)【福岡】福岡県中小企業振興センター 2階 ホール(福岡市博多区)

《受講対象者》 都道府県、市町村の母子保健担当者(保健師、助産師、(管理)栄養士、歯科衛生士、心理職など)

**※対象者以外はお断りさせていただきます。あらかじめ御了承ください。**

《到達目標》

- ・親や子どもの多様性を理解し、育てにくさの背景にある問題の所在を見極め適切に対応できる。
- ・親や子どもが発信する様々なサインを理解し、適切な対応や親子に寄り添った支援を行うことができる。

《プログラム》(受付 9:40~9:55) ※敬称略

9:55~10:00 開会・事務連絡

10:00~11:30 **講義① 「育てにくさの理解と支援」**

- ・「健やか親子21（第2次）」における「育てにくさ」とは
- ・「育てにくさ」の4つの要因と分析
- ・育てにくさという親のSOSに気がつくために 等

講師：秋山 千枝子

11:30~12:30 昼休み

12:30~14:00 **講義② 「育てにくさに寄り添う支援～4つの要因とその対応～」**

- ・各要因に応じたサインと適切な対応・支援、関係機関との連携
- ・要因分析の留意点
- ・隠れたニーズ、サインを見逃さないためのポイント 等

講師：小倉 加恵子

14:00~14:20 休憩

14:20~15:50 **講義③ 「育てにくさに寄り添う支援～ペアレントトレーニングの視点～」**

- ・親がより良く子どもと関わるために
- ・ペアレントトレーニングの考え方と手法 等

講師：田中 真衣

15:50~ 閉会・解散

《講師》(五十音順・敬称略)

秋山 千枝子 あきやま子どもクリニック 院長

小倉 加恵子 社会医療法人大道会ポバース記念病院小児神経科

田中 真衣 特定非営利活動法人 SomLic 代表

### ● 本研修に関するお問合せ ●

運営事務局：一般社団法人 日本家族計画協会 〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 1-10 保健会館新館

<http://www.jfpa.or.jp/> 電話 03-3269-4785 (平日 9時~17時・祝日除く) FAX 03-3267-2658

■ 「母子保健指導者養成研修」特設 WEB サイト ⇒ <http://www.jfpa.info/boshi/> ■

お申込みは、特設 WEB サイトよりお願いいたします。

こちらからもアクセス可能です⇒





健やか親子21

## 不妊・不育相談支援研修

不妊や不育に悩む方が増加傾向にある中、その方々を取り巻く状況は年々変化しています。各地方自治体の不妊専門相談センターに従事する相談員には、より専門的な相談ニーズのもと、総合的な対応力等のさらなる向上が求められています。

本研修は、一般的な不妊・不育に関わる検査、治療の流れを把握するとともに、不妊に悩む方が抱える不安等への相談・支援、さらには仕事と家庭の両立に対する助言ができるようになることを目的とします。

《開催日・会場》 **受講料:無料** **定員:各 50 名**(定員を超える申し込みがあった場合は調整させていただくことがあります)

8 月 10 日(金)【福岡】リファレンス駅東ビル 4 階 G 会議室(福岡市博多区)

8 月 14 日(火)【東京】平和と労働センター・全労連会館 2 階 ホール(東京都文京区)

《受講対象者》 都道府県、指定都市及び中核市の不妊相談支援担当職員、不妊専門相談センター職員  
※対象者以外は受講をお断りさせていただきます。あらかじめ御了承ください。

《到達目標》

- ・不妊・不育の基本的な検査と治療及び支援について説明できる。
- ・不妊・不育の相談対応について関係機関へのつなげ方、相談対応の留意点等について理解する。
- ・仕事と不妊治療の両立に悩む方への助言ができる。

《プログラム》 ※福岡と東京で講義順番が異なりますが、内容に変更はございません

**【8 月 10 日(金) 福岡会場】** 受付 9:40~9:55

10:00~10:20 行政説明

「不妊専門相談センターについて」

10:20~11:20 講義

「女性の不妊症・不育症の最新情報」

11:20~11:25 休憩

11:25~12:25 講義「相談者の心へのケア対応」

12:25~13:25 昼休み(移動含む。)

13:25~14:45 ディスカッション

「相談者に寄り添った支援のために」

14:45~15:00 休憩

15:00~16:00 講義

「男性不妊症の理解と支援の実際」

16:00~ 閉会・解散

**【8 月 14 日(火) 東京会場】** 受付 9:40~9:55

10:00~10:20 行政説明

「不妊専門相談センターについて」

10:20~11:20 講義

「男性不妊症の理解と支援の実際」

11:20~11:25 休憩

11:25~12:25 講義

「女性の不妊症・不育症の最新情報」

12:25~13:25 昼休み

13:25~14:25 講義「相談者の心へのケア対応」

14:25~14:40 休憩(移動含む。)

14:40~16:00 ディスカッション

「相談者に寄り添った支援のために」

16:00~ 閉会・解散

《講師》 (五十音順・敬称略)

石原 理 (埼玉医科大学産科婦人科 教授) 《女性の不妊症・不育症》

小堀善友 (獨協医科大学埼玉医療センター泌尿器科 准教授) 《男性の不妊症》

森 明子 (聖路加国際大学看護学部 教授) 《心へのケア対応・ディスカッション》

### ● 本研修に関するお問合せ ●

運営事務局：一般社団法人 日本家族計画協会 〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 1-10 保健会館新館

<http://www.jfpa.or.jp/> 電話 03-3269-4785 (平日 9 時~17 時・祝日除く。) FAX 03-3267-2658

■ 「母子保健指導者養成研修」特設 WEB サイト ⇒ <http://www.jfpa.info/boshi/> ■

お申込みは、特設 WEB サイトよりお願いいたします。

こちらからもアクセス可能です⇒





健やか親子21

## 「子育て世代包括支援センター」における妊産婦等の継続的な状況の把握と支援プラン策定についての研修

妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」の法定化により、市町村は同センターの設置に努めることとされており、平成 32 年度末（2020 年度末）までの全国展開を目指しています。

そこで本研修は、子育て世代包括支援センターの設置を進める際に必要となる基本的な考え方や、包括的なサービスを切れ目なく提供するための妊産婦等の継続的な状況の把握や支援プランの策定、各種マネジメントの必須業務の理解等の知識・技能を身につけることを目的に開催いたします。

《開催日・会場》 **受講料:無料** **定員:各 100 名**(定員を超える申し込みがあった場合は調整させていただきます)

- 8 月 6 日(月)【仙台】TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台東口 10 階 ホール 10B (仙台市宮城野区)
- 10 月 3 日(水)【福岡】リファレンス駅東ビル 5 階 V-1 (福岡市博多区)
- 10 月 9 日(火)【東京】全水道会館 4 階 大会議室(東京都文京区)
- 10 月 29 日(月)【愛媛】ピュアフル松山勤労会館 5 階 白鷺の間 (松山市宮田町)
- 11 月 27 日(火)【福井】福井県国際交流会館 地下 1 階 多目的ホール (福井市宝永)

《受講対象者》都道府県、市町村の母子保健行政担当者および子ども・子育て支援担当者

**※対象者以外はお断りさせていただきます。あらかじめ御了承ください。**

《到達目標》

- ・子育て世代包括支援センターの設置を進める際に必要な基本的な考え方を理解する。
- ・支援プランの策定等具体的な必須業務について理解する。
- ・地域の課題を把握し、これからの業務の取組に活かすことができる。

《プログラム》(受付 9:40~9:55) 9:55~10:00 開会・事務連絡

10:00~10:20 **行政説明** 「子育て世代包括支援センターについて」

10:20~10:50 **講義①** 「子育て世代包括支援センター展開のために～設置理念～」

10:50~11:30 **講義②** 「子育て世代包括支援センター展開のために～事業展開～」

11:30~11:35 休憩

11:35~12:35 **講義③** 「地域特性に応じた子育て世代包括支援センター事業の効果的なすすめ方～支援プランと関係機関との連携～」

12:35~13:35 休憩

13:35~14:25 **事例発表** 「地域特性に応じた子育て世代包括支援センター」

14:25~14:35 休憩(移動含む。)

事例発表自治体：調整中

14:35~16:00 **ディスカッション** 「地域特性に応じた母子保健と子育て支援の連携」

16:00~ 閉会・解散

《講師》(五十音順・敬称略)

上野 昌江 大阪府立大学地域保健学域看護学類・看護学研究科 教授(福岡)《講義②》

草野恵美子 大阪医科大学看護学部 准教授(東京)《講義②》

佐藤 拓代 大阪府立病院機構大阪母子医療センター母子保健情報センター 顧問(全会場)《講義③・ファシリテーター》

高橋 睦子 吉備国際大学保健医療福祉学部社会福祉学科 教授(全会場)《講義①》

西村真実子 石川県立看護大学母性・小児看護学講座 教授(福井)《講義②》

横山 美江 大阪市立大学大学院看護学研究科 教授(仙台・愛媛)《講義②》

● 本研修に関するお問合せ ●

運営事務局：一般社団法人 日本家族計画協会 〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 1-10 保健会館新館

<http://www.jfpa.or.jp/> 電話 03-3269-4785 (平日 9 時~17 時・祝日除く。) FAX 03-3267-2658

■ 「母子保健指導者養成研修」特設 WEB サイト ⇒ <http://www.jfpa.info/boshi/> ■

お申込みは、特設 WEB サイトよりお願いいたします。

こちらからもアクセス可能です⇒





健やか親子21

## 妊産婦のメンタルヘルスと産後ケア事業に関する研修

妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援や子育て家庭の不安を解消することが求められている中、特に出産直後のケアの重要性が高まっており、「産後ケア事業」の実施が推進されています。

そこで本研修は、各地方自治体や医療機関が「産後ケア事業」を実施するにあたって、産後の身体面・精神面のケアに関する基礎知識等を身に付け、適切なケアの提供や関係機関との連携により、行政と医療機関の両側面から産後の母児に対する支援の充実を図ることを目的に開催いたします。

〈開催日・会場〉 **受講料:無料** **定員:各100名**(定員を超える申し込みがあった場合は調整させていただきます)

8月22日(水)【東京】全水道会館 4階 大会議室(東京都文京区)

9月8日(土)【福岡】TKP ガーデンシティ PREMIUM 博多駅前 4階 ホールB (福岡市博多区)

〈受講対象者〉 市町村の母子保健行政担当者及び  
医療機関(産後ケアを実施または実施を検討している医療機関)等の助産師等  
※対象者以外は受講をお断りさせていただきます。あらかじめ御了承ください。

〈到達目標〉

- ・妊産婦の身体面・精神面に関する基礎知識を身に付け、適切なケアの提供につなぐことができる。
- ・関係機関との連携のポイントを学び、産後ケア事業について展開や支援の在り方への理解を深める。
- ・地域の課題を把握し、これからの産後ケア事業の取り組みに活かすことができる。

〈プログラム〉(受付9:40~9:55) ※敬称略

9:55~10:00 開会・事務連絡

10:00~10:30 行政説明 「最近の母子保健の動向」 講師:厚生労働省子ども家庭局母子保健課

10:30~11:30 講義① 「妊産婦のメンタルヘルスケア」

- ・妊産婦のメンタルヘルスの変化
- ・産前産後の問題を防ぐために見落としたくない母親のサイン
- ・地域で支えるために多職種連携に期待されること 等

講師:立花 良之

11:30~12:30 昼休み

12:30~13:30 講義② 「産後ケア事業を通じた地域の連携~メンタルヘルスに焦点を当てて~」

- ・行政と医療機関が協力するためのポイント
- ・子育て世代包括支援センターとの連携について
- ・産婦健診と産後ケア事業の関わり方 等

講師:福島 富士子

13:30~13:40 休憩

13:40~14:40 事例紹介 「実際に取り組んでいる自治体より」

14:40~14:50 休憩(移動含む。)

事例発表自治体 東京:調整中  
福岡:調整中

14:50~16:00 ディスカッション「妊娠期からの切れ目ない母親のメンタルヘルス支援」

ファシリテーター:市川 香織

16:00~ 閉会・解散

〈講師〉(五十音順・敬称略)

市川 香織 東京情報大学看護学部看護学科 准教授/産前産後ケア推進協会 代表理事

立花 良之 国立成育医療研究センターこころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科 医長

福島富士子 東邦大学 看護学部長

### ● 本研修に関するお問合せ ●

運営事務局:一般社団法人 日本家族計画協会 〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館

<http://www.jfpa.or.jp/> 電話 03-3269-4785 (平日9時~17時・祝日除く。) FAX 03-3267-2658

■ 「母子保健指導者養成研修」特設WEBサイト ⇒ <http://www.jfpa.info/boshi/> ■

お申込みは、特設WEBサイトよりお願いいたします。

こちらからもアクセス可能です⇒





健やか親子21

## 児童福祉施設給食関係者研修（食育の推進のための関係者研修）

「健やか親子21（第2次）」において、乳幼児をはじめとした子どもの健全な食生活の重要性の観点から、「食」を通じた健康づくりの推進がより一層図られています。本研修では、児童福祉施設における発達段階に応じた栄養管理の改善や食育の推進を図ることを目的に開催します。

《開催日・会場》 **受講料：無料**

**定員(予定):宇都宮市 400名、大分市 400名、長野県 600名、和歌山県 600名**

(定員を超える申し込みがあった場合は調整させていただくことがあります)

10月10日(水)【宇都宮】栃木県総合文化センター メインホール (栃木県宇都宮市)

10月19日(金)【長野】長野県県民文化会館(ホクト文化ホール) 中ホール (長野県長野市)

11月8日(木)【大分】J:COM ホルトホール大分 大ホール (大分県大分市)

11月30日(金)【和歌山】和歌山市市民会館 小ホール (和歌山県和歌山市)

《受講対象者》市町村、都道府県の児童福祉主管課の施設給食指導担当職員及び栄養主管課の

栄養指導担当職員並びに児童福祉施設の施設長及び栄養関係担当職員

**※対象者以外はお断りさせていただきます。あらかじめ御了承ください。**

《到達目標》

- ・子どもの発育・発達段階に応じた栄養管理の改善や食育の推進について、理解を深める。
- ・各地域や施設に合わせた食育計画の策定や見直しの工夫を学び、栄養管理の改善に活かす。

《プログラム》(受付 9:30~9:55) ※各講義の時間には質疑応答が含まれます。

9:55~10:00 開会・事務連絡

10:00~10:30 行政説明「児童福祉・母子保健対策等の動向」

講師：厚生労働省子ども家庭局母子保健課

10:30~12:00 講義① 「児童福祉施設等における社会経済的要因を踏まえた栄養・食育の推進について」

講師：宇都宮・大分会場 村山 伸子／長野・和歌山会場 山本 妙子

12:00~13:20 昼休み

13:20~14:50 事例発表「各地域・施設による栄養管理及び食育推進の取組」

14:50~15:10 休憩

15:10~16:30 講義② 「児童福祉施設等における食物アレルギーへの対応」

講師：長谷川 実穂

16:30~ 閉会・解散

《講師》

講義① 宇都宮会場、大分会場 / 村山 伸子 新潟県立大学人間生活学部健康栄養学科 教授  
長野会場、和歌山会場 / 山本 妙子 神奈川県立保健福祉大学 名誉教授

講義② 長谷川 実穂 昭和大学医学部小児科学講座研究補助(管理栄養士) 小児アレルギーエデュケーター

### ● 本研修に関するお問合せ ●

運営事務局：一般社団法人 日本家族計画協会 〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 1-10 保健会館新館

<http://www.jfpa.or.jp/> 電話 03-3269-4785 (平日9時~17時・祝日除く。) FAX 03-3267-2658

■ 「母子保健指導者養成研修」特設 WEB サイト ⇒ <http://www.jfpa.info/boshi/> ■

お申し込みは、特設 WEB サイトよりお願いいたします

こちらからもアクセス可能です⇒

